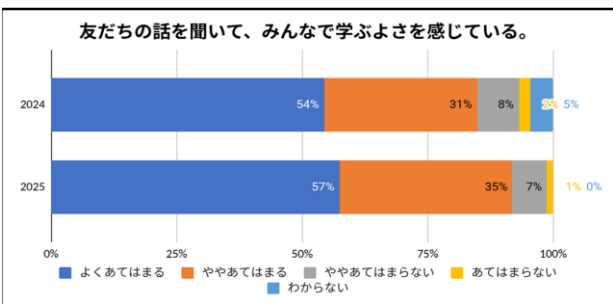
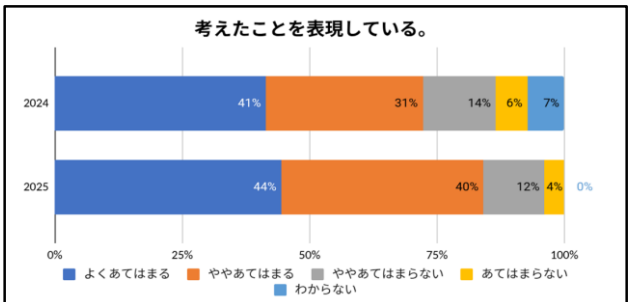
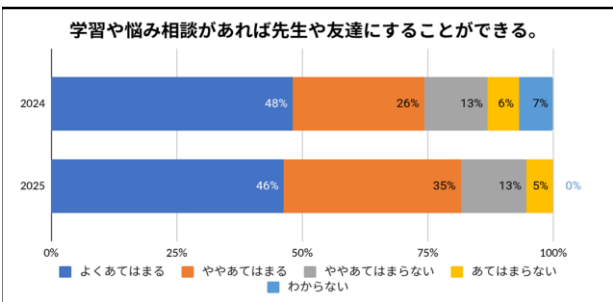
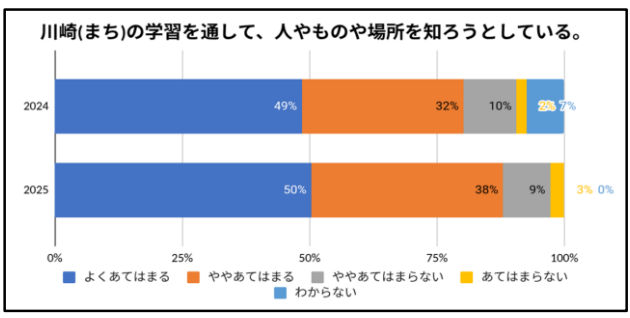
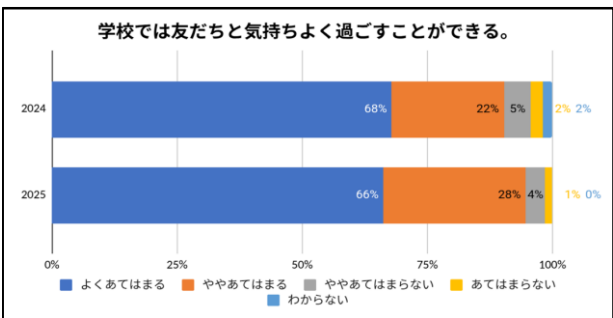
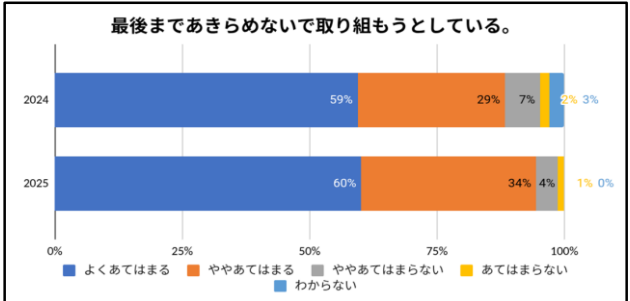
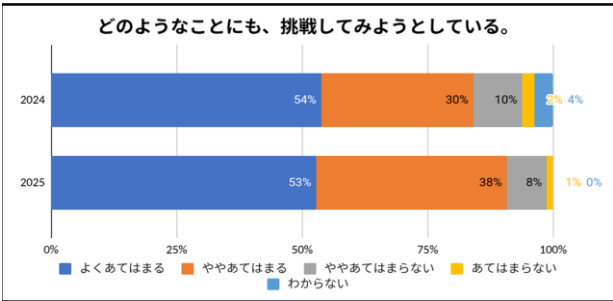
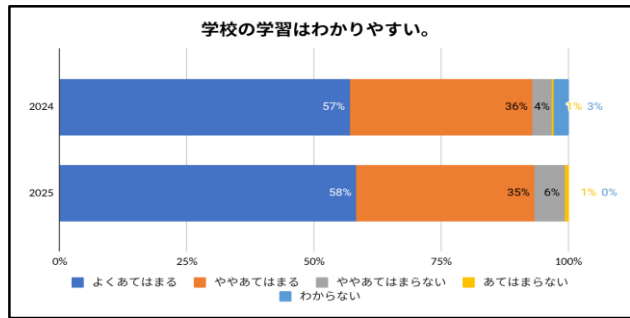
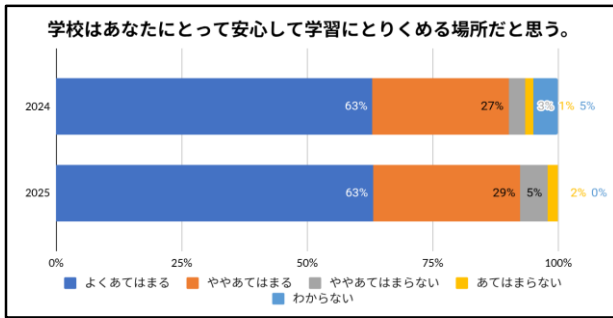


令和7年度 川崎市立東菅小学校 「学校や学習についてのアンケート」【児童】 結果



・児童の回答は、全体的に肯定的な割合が増えています。

◎「挑戦してみようとしている」については、教職員の中で課題にあげて取り組んできました。教員の価値付けや励ましなどの声かけが必要ではないか、また、他者承認として、教員だけでなく「友達から認めてもらう場・機会」を作っていこうと、今年度、具体的に進めてきた成果が少しずつ現れてきたと感じています。

◎「最後まで諦めずに取り組もうとする気持ち」については、肯定的に捉えている割合が94%と高くなっています。学習の振り返りを重視し、学習の中での自分の成長を実感し、「できる、できた」を積み重ねていくことが、自己効力感を高める大事な要素だと考えています。

◎「友達関係」や「みんなで学ぶ良さ」について肯定的な答えが増えました。教室で安心して学ぶことができ、みんなと協動的に学ぶ良さを実感することにもつながってくる大事な視点だと考えます。みんなで協動的に学ぶことについても、ペアやグループなど学習形態の工夫や、「他者参照」として、他の人の考えを取り入れたりしながら、自分の学びを深めていく、広げていくことについて積極的に試みています。

▲協動的な学びの中でのGIGA端末の効果的な活用については、まだ課題があると考えています。